

漢代および漢代以前の中国出土西方文物

齊 東方〔川 又 正 智 訳〕

The Western Relics Excavated from the Sites of Han and Pre-Han Periods, China

by Qi Dongfang

中国で歴年おこなってきた考古発掘で、たくさんの西アジアおよび中央アジアの文物が出土している。これらの文物としては、西方の文字銘文のある鉛餅・腐蝕させて（エッチング）文様をつけた紅玉髓製玉類・サーサーン朝銀貨・サーサーン朝のガラス製品・ペルシアの陶器・ローマのガラス製品・東ローマのガラス製品・東ローマ金貨とその仿製品・アラブ金貨とその仿製品・ソグドの銀器・クシャーン銅貨・イスラームのガラス製品・カラハン朝銅貨・西アジアあるいは中央アジアの金製首飾・金製腕輪・金銀製指輪・金製裝飾部品・象牙・香料、などがある。さらに、中国で製造した、西アジア人や中央アジア人の中国における活動状況を反映している碑刻・墓誌・建築・文書などがある。これらの文物は、西アジアと中央アジアの歴史・考古・美術史・中国文化との関係を研究するのに重要な資料である。中国出土のこれらの文物ははなはだ多量であり、時代もながきにわたるので、本稿でその全部をとりあつかうことは不可能である。したがって、その中の、漢代および漢代以前の文物について現在の基本的研究を述べたい。

I

中国出土の漢代および漢代以前の西方文物で主要なものは以下のようである：

- 1 新疆輪台群巴克（チョムバク）出土ガラス製トンボ玉。前第10～前第7世紀の墓葬から。〔中国社会科学院考古研究所新疆工作隊 1991：684〕
- 2 河南固始侯古堆1号墓出土ガラス製玉。墓葬の時代はおよそ前第6世紀。〔固始侯古堆一号墓発掘組 1981：1〕
- 3 雲南江川李家山22号墓出土エッチング文紅玉髓製玉。墓葬年代はおよそ前第6世紀。〔作銘 1974〕
- 4 湖北随州市曾侯乙墓出土ガラス製トンボ玉。墓葬年代は前第5世紀中葉。〔湖北省博物館 1989：425, 657〕（写真1）
- 5 山東臨淄齊王墓隨葬坑出土銀製盒。年代は前179年前後。〔山東省淄博市博物館 1985：223〕（写真2）
- 6 広東広州南越王墓出土銀製盒・金製裝飾部品・象牙・香料。墓葬の時代は前122年前後。〔広州市文物管理委員会他 1991〕（写真3）
- 7 広東広州横枝崗2061号墓出土ガラス製碗。墓葬年代は前第1世紀。〔広州市文物管理委員会他 1981〕（写真4）
- 8 雲南晋寧石寨山13号前漢墓出土エッチング文紅玉髓製玉。〔作銘 1974〕（写真5）
- 9 広東広州4013号墓出土金製玉とエッチング文紅玉髓製玉。墓葬年代はおよそ後第1世紀前半。〔広州市文物管理委員会他 1981〕
- 10 湖南長沙五里牌後漢墓出土金細粒技法製品。〔湖南省博物館 1960：38〕
- 11 江蘇揚州甘泉2号後漢墓出土ガラス製品と金細粒技法製品。〔南京博物院 1981：1〕（写真6, 7, 8, 9）
- 12 河南洛陽東郊出土ガラス製瓶。時代はおよそ後第2世紀。〔中国文物交流中心 1992〕（写真10）
- 13 新疆和闐（コータン）出土エッチング文紅玉髓製玉。遺跡年代は前第3世紀～後第2世紀。〔Stein 1928〕
- 14 陝西漢長安城内出土西方文字銘文鉛餅。時代は後

漢末年。〔考古研究所資料室 1977：428〕

- 15 陝西扶風漢代遺跡出土西方文字銘文鉛餅。〔羅 1976：275〕
- 16 甘肅靈台出土西方文字銘文鉛餅。〔靈台県博物館 1977：427〕（図1）

II

中国へ漢代およびそれ以前につたわってきた西方産遺物はそれぞれ、新疆ウイグル・甘肅・陝西・河南・広東・湖南・湖北・江蘇・山東・雲南の10省区で出土している。東南沿海から長江，黄河流域，西北までひろく分布し，遺物の種類は豊富である。

ガラス（玻璃）製品

ガラス製品は現在知られる中国出土最古の西方産文物である。その中でも，ガラス製玉類は主要な遺物である。ガラス製玉類の形状は球形あるいは楕円球形である。穿孔があり，文様は各種の円環などで，色彩は多様である。よく「トンボ玉」（蜻蜓眼玻璃珠）と称される。化学分析によると，この種のガラス製玉類の成分はナトリウムとカルシウムを主成分としていて，西アジアの同類製品と完全に一致している。

中国の西北地区と南方地区からガラス製玉類が出土することは，当時の中国の文化区域関係から考えて，これは陸路と海路両方から伝来してきたものと解することができる。やや時代のおそい広州前漢墓出土の完形ガラス製碗は，中国出土最古のローマのガラス製容器で，これと揚州後漢墓出土のローマのガラス残片は，地中海沿岸産ガラス製容器がすくなくとも前漢時代にも中国へ伝来していたことをしめしている。現在

のところ，前第5世紀の中国と地中海沿岸諸国との直接交往は証明できないとはいえ，西北遊牧民族の移動および海上インド方面を経ての中国とこの地方との関係があった。洛陽東郊出土ローマガラス製瓶は，陸路中国へ伝来した最古のガラス製容器であろう。

金銀器

現在ある資料では，金銀器の中国伝来はガラス製品よりもすこしおそい。広州南越王墓中の銀製盒と山東齊王墓随葬坑中の銀製盒は，器形・文様と製作技術とも非常にちかく，この種の器物とペルシアの金銀器はよく似ている。同様な銀器はこれまでバルカン半島のブルガリア南部でも出土している。現在まだ中国出土のこの2点の銀製盒製造地点は判明していないが，西アジアあるいはもうすこし西よりの地方の産であることは問題あるまい。

南越王墓では他に象牙・香料・金製装飾部品が出土している。南越王国は当時中国南方で一定の独立性をもっていたから，これらの遺物は海路中国へ伝来したものであろう。齊王墓随葬坑出土銀製盒も海路伝来した可能性はあるが，陸路中国伝来の可能性も排除できない。南越王墓出土32点の金製装飾部品は，こまかい金粒を鑲接したものである。この技法の金製品は，ティグリス・エウフラテス流域で前3000年ころすでに出現し，のちにエジプト・ペルシア・中央アジア・インド・パキスタンにひろく流行した。類似の金細粒鑲付技法製品は中国ではさらに，広東広州後第1世紀前半4013号後漢墓・江蘇揚州後漢墓・湖南長沙後漢墓から出土している。きわめてよく似た金細粒技法製品がベトナムとパキスタンでも出土した。この種の金細粒

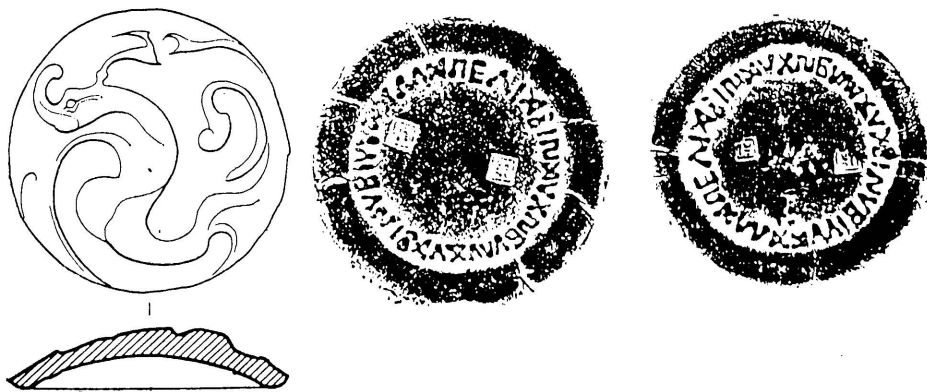


図1 鉛餅〔靈台県博物館 1977〕

技法製品は海のシルクロードにかかわる遺物である。

エッチング文紅玉髓製玉類（蝕花肉紅石髓珠）

この種の遺物で中国最古の出土品は、雲南李家山の前第6世紀墓葬中のものであり、すこし後代では、雲南石寨山前漢墓や広州4013号後漢墓で出土している。これは紅玉髓の石表面を薬品で腐蝕して文様を出す技法で、前2000年くらいには西アジアと南アジアですでにあらわれている。この遺物の中国での出土は、海路中国と西方の往来関係があったこと、中国西南地区と南アジアや西アジアとの交通路がすでにあったこと、を説明するのみならず、新疆和闐出土品は陸路での中国伝来をしめすものであろう。

西方文字銘文鉛餅

この種の鉛餅は円形を呈し、直径5.4～5.6センチメートル、片面は凸、もう一方は凹面で、凹面に西方文字銘文が一周鑄だされている。夏鼐の考証によれば、この銘文文字はヘレニズム時代とローマ時代の西アジアで使用した貨幣上のギリシア文字で、銘文の特徴はアルサケス朝貨幣銘文に似ている〔作銘 1961：272〕。中国出土のこの種鉛餅はみな後漢時代である。特別に埋蔵された遺跡から出土することは、当時のきわめて貴重な物品であったことをしめすものである。

III

中国出土の西方産文物はもとより人々をシルクロード研究に関心を持たせるとはいえ、絲綢之路研究者はおおく漢代張騫の西域鑿空後を論じている。ここまで列挙してきた出土品は、張騫などの公的交渉以前にも民間の交渉がすでに頻繁であって、これが、漢王朝の使節を西に派遣する決定をうながし、後代のシルクロード繁栄を促進したものであることをしめしている。

張騫西域通使以前の東西交渉についての文献資料はすくなく、発掘出土品実物によらずしては研究を進行できない。中国出土西アジア産ガラス製品は、時代上はやくも前第10世紀から存するのに、中国文献はこれについて記載していない。中国漢代およびそれ以前出土の西方産文物は数量もおおく種類も豊富で、絲綢之路開通の研究に大量のたよるべき資料を提供する。そのうえ、はやくも前第10世紀から前第5世紀の間に中国の西方への交通路として、海路・陸路と西南地区川

滇路がみな通じていたことが、考古資料によって証明される。

すでに知られている中国漢代以前の西方産文物は、海上絲綢之路から輸入したものがかなり多い。この西方産文物以外でも、広州では秦代の造船工場遺跡を発掘しているし〔廣州市文物管理处 1977：1〕、広州漢代墓葬中からしばしば土製および木製の船模型が出土することは、そのころの中国がすでに高度な航海能力をそなえていたことをかたっている。これが海上シルクロード発展の基礎となった。

漢代以後、海路伝来する西方産文物ははなはだおおく、たとえば南朝時代広東遂溪出土サーサーン朝銀貨・銀製碗・銀製杯、広東英德南齊墓出土サーサーン朝銀貨、広東曲江南朝墓出土サーサーン朝銀貨、湖北鄂城西晋墓出土サーサーン朝ガラス製碗、湖北公安東晋墓出土金細粒技法製品、南京象山東晋墓出土ローマガラス製杯と金製指輪、南京鼓樓東晋墓出土ローマガラス製碗、南京北郊東晋墓出土ローマガラス製杯、南京石門坎六朝墓出土ローマガラス残片、江蘇鎮江六朝墓出土サーサーン朝ガラス製碗、などがある。唐宋時代も西方伝来の陶器・ガラス製品・金銀器はすくなく出土する。海路も歴代衰退することなく、漢代以前の交渉は後代の繁栄につながる堅実な基礎をつくっていたことがわかる。

漢代およびそれ以前に中国へ輸入された西方産文物は、中国文化にある程度の影響を生じている。たとえば、雲南石寨山前漢墓出土の青銅製盒は、造形と文様が南越王墓と齊王墓隨葬坑出土の銀製盒とよく似ていて、西方産器物影響下の仿製品にちがいない。湖南・広東・広西などの地区では大量の中国産ガラス製玉類が出土するが、その成分が鉛とバリウムを主としていて中国の特色であることをのぞけば、外形・文様・色彩において西アジア産品と差がない。青銅製仿製品はこの後の時代にはみられないし、戦国時代に仿製がはじまった西アジア風ガラス製玉類は前漢以後だんだんなくなり、これら西方産品の中国への影響はおおきくない。西方流行の金細粒鑲付技法は漢代中国製造器物中にあらわれ、陝西西安出土金製竈と河北定州出土金製龍はみなこの技法である。そしてこの技法は南北朝以降の金銀製品製造においてずっと継承され発展す

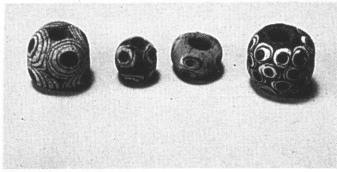


写真1 ガラス製トンボ玉
〔湖西省博物館 1989〕



写真2 銀製盒〔山東省淄博市博物館 1985〕



写真3 銀製盒〔広州市文物管理委員会他 1991〕



写真4 ガラス製碗〔広州市文物管理委員会他 1981〕

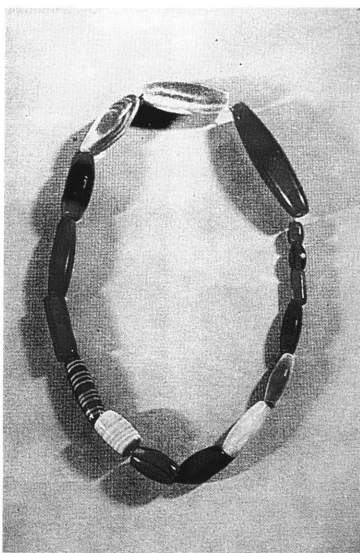


写真5 瑪瑙・紅玉髓製玉〔作銘 1974〕

る。南北朝時代の西方伝来各種文物はさらにおおく、中国人の西方文物への認識と理解をふかめ、これら器物の反映する文化内容を吸収し、中国文化の中に融合し、唐代文化の中におおきくあらわれたのであった。

〔原文漢語〕

参 考 文 献

固始侯古堆一号墓発掘組

1981 河南固始侯古堆一号墓発掘簡報,「文物」1981-1。
広州市文物管理处

1977 広州秦漢造船工場遺址試掘,「文物」1977-4。

広州市文物管理委員会；広州市博物館

1981 「広州漢墓」文物出版社,北京。

広州市文物管理委員会；中国社会科学院考古研究所；広東省博物館

1991 「西漢南越王墓」文物出版社,北京。

湖北省博物館

1989 「曾侯乙墓」上冊,文物出版社,北京。

湖南省博物館

1960 長沙五里牌古墓清理簡報,「文物」1960-3。

考古研究所資料室

1977 西安漢城故址出土一批帶銘文的鉛餅,「考古」1977-6。

靈台县博物館

1977 甘肅靈台發現外国銘文鉛餅,「考古」1977-6。

羅 西章

1976 扶風姜塬發現漢代外国銘文鉛餅,「考古」1976-4。

南京博物院

1981 江蘇邗江甘泉二号漢墓,「文物」1981-11。

山東省淄博市博物館

1985 西漢齊王墓隨葬器物坑,「考古學報」1985-2。

Stein, A.

1928 *Innermost Asia*, Oxford.

中国文物交流中心

1992 「中国の金銀ガラス展——正倉院の故郷」NHK 大阪放送局,大阪。

中国社会科学院考古研究所新疆工作队他

1991 新疆輪台县群巴克墓葬第二,三次發掘簡報,「考古」1991-8。

作 銘

1961 外国字銘文的漢代(?)鉛餅,「考古」1961-5。

1974 我国出土的蝕花的肉紅石髓珠,「考古」1974-6。

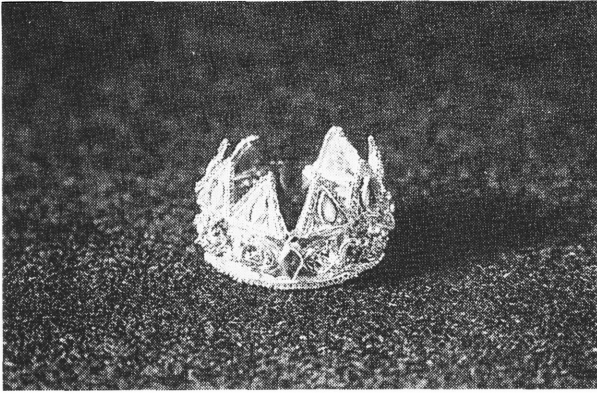


写真6 金細粒技法製品（南京博物院 1981，中国美術全集
工芸金銀器巻）

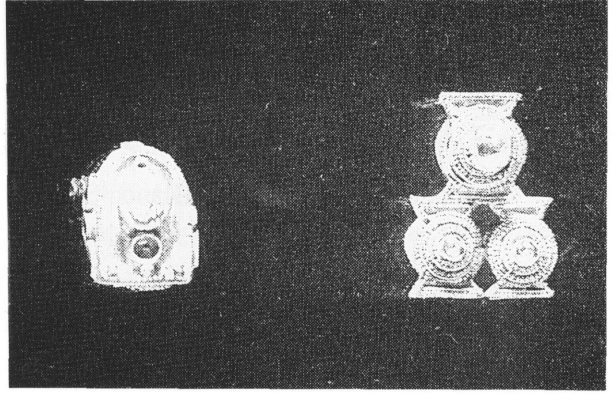


写真7 金細粒技法製品（南京博物院 1981，中国美術全集
工芸金銀器巻）

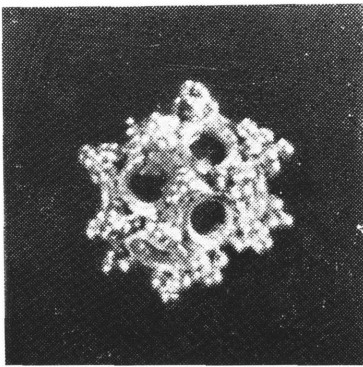


写真8 金細粒技法製品（空心金球）
〔南京博物院 1981〕

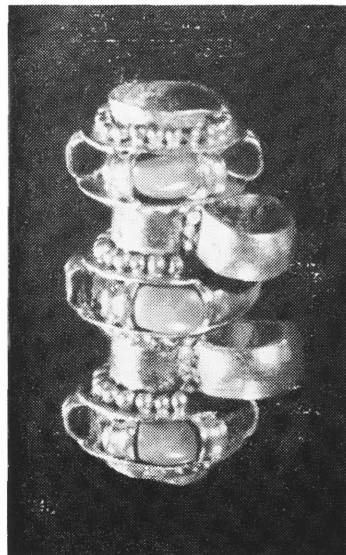


写真9 金細粒技法製品〔南京博物院 1981〕



写真10 ガラス製瓶〔中国文物交流中心 1992〕